

令和4年（2022年）5月6日

エペのガードソケット、ボディワイヤーの接続プラグ
及びサーブルのブレードのルール適用について（確認）

（公財）全国高等学校体育連盟
フェンシング専門部

過日にホームページ等で連絡しておりますが、令和4年度全国高等学校総合体育大会（高松インターハイ）においては以下のようにルールを適用いたします。今年度からエペ、サーブル種目の個人対抗出場枠が増えるため各都道府県にて道具の整備等ご注意ください。

【適用されるルール】

1 エペのガード内のソケットについて

エペのガード内側のソケットにはブロックの中で2つの分離された穴がなければならない。従って、2本のワイヤーがブロックの中を別々に通り、端末に繋がるようになる。（FIE 用具規定 m. 18.3 参照）

2 ボディワイヤーの接続プラグについて

ボディワイヤーには両端に接続プラグがついているが、この接続プラグは透明の素材で作られてなければならない。武器に装備された安全確保装置の欠如の場合は、安全確保装置がボディワイヤーのプラグに装備されてなければならない。（FIE 用具規定 m. 29.1.b、m. 31.2 参照）

参考：[https://fencing-jpn.jp/cms/wp-](https://fencing-jpn.jp/cms/wp-content/uploads/2021/12/65f617e1f063abbbad3b107ea82ef582.pdf)

[content/uploads/2021/12/65f617e1f063abbbad3b107ea82ef582.pdf](https://fencing-jpn.jp/cms/wp-content/uploads/2021/12/65f617e1f063abbbad3b107ea82ef582.pdf)

【適用しないルール】

1 サーブルのブレードについて

サーブルのブレードについては、マラジンブレードの使用の義務はありません。

ただし、「S2000」の刻印があるブレードでないと使用できませんのでご注意ください。